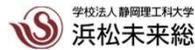


外国人介護人材の 育成を振り返って



学校法人 静岡理工科大学
浜松未来総合専門学校



社会福祉法人

七恵会

1

発表者紹介



TIN ZAR MYAT (ティン ザー ミャット)
ミャンマー出身 27歳
2025年1月 介護福祉士国家試験を受験し合格
現在は第二長上苑で新人介護職員として勤務



NANG POH (ナン ポッ)
ミャンマー出身 27歳
浜松未来総合専門学校2年生
来年1月に行われる介護福祉士国家試験を受験予定
長上苑で介護補助員としてアルバイトをしている

2



実物はライブで
ご確認ください

益田 八千代
第二長上苑 介護課長
留学生の主担当



実物はライブで
ご確認ください

堰口 千春 *本日はコーディネーターを務めます
浜松未来総合専門学校 専任教員

3

外国人介護人材の育成連携スキーム



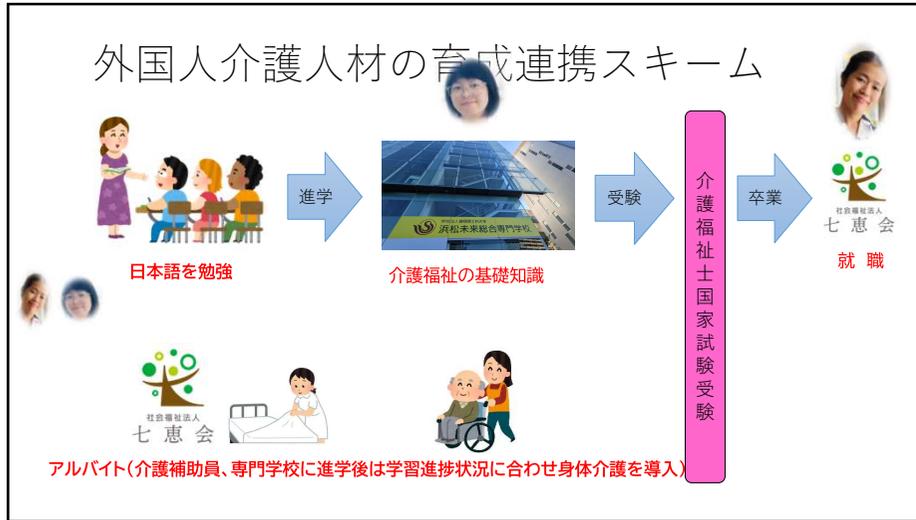
日本語学校

介護福祉士
養成施設

介護福祉士
国家試験受験

期間：3年半～4年間

4



5

第37回 介護福祉士国家試験について 外国人介護人材の受験結果

項目	受験数 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)
EPA介護福祉士候補生	1,314	498	37.9
初受験	1,022	443	43.1
再受験	287	55	19.2
技能実習生	155	50	32.3
特定技能1号	4,932	1,643	33.3

出典：近藤 潤一 (2025/5/16) 「介護福祉士試験に向けた日本語が学習の道筋」 「介護福祉士試験取得に向けての日本語教育の取り組み方」セミナー資料より

6

第37回 介護福祉士国家試験について 介護福祉士養成校の受験結果

項目	受験数 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)
介護福祉士養成ルート	6,955	4,638	66.7
日本人	3,868	3,553	91.9
留学生	3,087	1,085	35.1
新卒者	2,000	957	47.9
既卒生	1,087	128	11.8
浜松未来総合専門学校	12	11	91.6

出典：厚生労働省 第37回介護福祉士国家試験合格発表について

7

浜松日本語学院

- ▶日本語の習得 (N3以上をめざす) 日本語能力試験 (JLPT) のこと
- ▶介護日本語も同時進行で学習
- ▶日本文化、マナー、慣習などを学ぶ
- ▶生活面は日本語学校の生活指導教員がサポート

8

浜松未来総合専門学校

- ▶日本語の習得（**N2**以上をめざす）
- ▶介護福祉士養成カリキュラムを履修、国家試験向け勉学に励む
- ▶ビジネスマナーを習得
- ▶生活費や学費の相談

9

教育連携法人 （外国人を受け入れるにあたっての準備）

- ▶日本語学校の教員から、**どのような日本語を勉強しているのか**職員向けに勉強会を開催した
- ▶優しい日本語と、**文化の違い**を職員間で共有した
- ▶コミュニケーションを意図的に図るよう意識した
- ▶それぞれの**出身国の背景**

10

教育連携法人（受け入れ後）

- ▶介護補助員としてシーツ交換、洗い物などの業務から開始
- ▶専門知識の**学習進捗状況**に合わせ、業務内容を検討
- ▶報連相やビジネスマナー、社会人としての立ち振る舞い等、**OJT**をとおして身につけていく
- ▶業務の内容は具体的に説明した（あいまいな説明をさける）

11



ミヤツさん

- ▶日本に来た理由を教えてください
- ▶学業とアルバイトは大変でしたか
- ▶アルバイトで困った時はどうしていましたか

射撃の国体の選手
でした



12



- 介護福祉士として就職しました。感想を教えてください。
- どんな職員になりたいですか



13



ナンポッさん

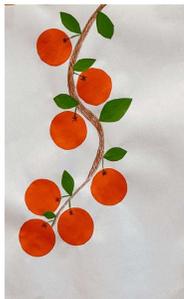
- 日本に来た理由を教えてください
- 日本語や介護の勉強は怎么样了
- 将来の夢を教えてください



14



私が好きな日本文化



15

産学で連携したこと

- 学業とアルバイトが両立できるように相談（特に経済面）
- 年1回、意見交換会を実施
- 国家試験に向け、勉強時間確保のための有給の使い方
- 持病の確認、対応

16

今後の課題（教育連携法人）

- ▶外国人介護人材のキャリアパスの検討
- ▶ご利用者のご家族の対応（日本語の課題）
- ▶介護の質向上のための日本語の勉強
- ▶ライフステージをどう理解していくか（結婚観や育児観）

17

今後の課題（介護福祉士養成施設）

- ▶介護福祉士国家試験合格指導だけでなく、職業人としての人材育成の強化（職業倫理や、人を支える仕事の意義、連携等）
- ▶卒業生、在学生の情報共有の在り方
- ▶教育連携法人ごとの定期的な意見交換会の開催
- ▶日本の慣習の更なる理解（結婚観や育児観）

18